

みえの経済

「ちなみ」社長 因政史さん(54) 菰野町千草

菰野町千草の株式会社

「ちなみ」は、昭和40年に父茂男さん(八巴)がいなべ市大安町で「ちなみ鍍金工業所」として創業。農機具や家電メーカーの2次下請けで、鉄のプレスや部品のめっき加工を母みどりさん(モ)と従業員数人で手掛けてきた。平成9年、会長に退いた父を継いで社長に就任後、自動車や自販機、家電メーカーとの取引を拡大して業績を伸ばしている。

いなべ市で4人きょうだいの長男として生まれた。仕事が忙しかった両親に代わって、祖父母にかわいがられて育った。幼いころから「後継ぎ」

めっき 鍍金・バレル研磨・金属加工

超一流メーカーの部品も

一度もリストラなく社員守る

と周囲に言われることが 入社した。重荷だったが、高校卒業を前に大学進学より家業を継ぐことを選んだ。修業のため、父の紹介で名古屋市の大手鍍金会社に

入社した。 21歳でちなみに入社した。 27歳の長男は大阪で独立を目指している。25歳の次男は父を継ぐべく、津市の鍍金会社で修業後、1年半前にちなみに入社した。



「将来は子どもも働かせたい」と思ってもらえるような会社にした」と話す因さん(菰野町千草)

機械化を望まない職人 社員が共に成長、発展するばかりだったが、半年ほどで「もう、お前の好きなようにやれ」と父は現場仕事から退いた。その後、納期が迫った製品の加工に追われ、やるしかないという思いで夜遅くまでがむしゃらに働

き、作業を自動化するた めの機械を1基ずつ導入し始めた。平成9年に経営を任せ

「会社を大きくすることより、社員に安心して働いてもらえる会社が最優先」たとして、雇用を守るためにしっかりと経営計画を立ててきた。「良い得意先に恵まれてきたおかげで、これまで一度もリストラをせずに社員とその家族の生

活を守ってきたことが何よりの誇り」と話す。 息子2人には、好きな道に進むよう話してきた。27歳の長男は大阪で調理士として働きながら独立を目指している。25歳の次男は父を継ぐべく、津市の鍍金会社で修業後、1年半前にちなみに入社した。

略歴 昭和38年生まれ。同56年県立朝明高校卒業。同年名古屋市の大手鍍金会社入社。同59年ちなみ入社。平成9年ちなみ社長に就任。同12年中小企業家同友会桑名支部入会。同29年県鍍金組合副理事長就任。

「これまで」開発した猫用のペット用品を「やっくん」が使い心地を